

編 集 後 記

Vol. 14, No. 1 を発刊いたします。Vol. 15 からは電子媒体で発刊することにし、冊子体は総説を中心に数年に1回とする方針で考えています。

さて2014年度の大会は、巻頭言で書いたように日本微生物生態学会、日本土壌微生物学会が主催し、日本菌学会、極限環境生物学会、日本ゲノム微生物学会が協賛する合同大会「環境微生物系学会合同大会2014」です。編集委員長の金原が実行委員会委員長として、浜松で開催いたします。

日本からの微生物研究の情報発信をより強力なものにする事を目指し、3つの微生物分野の学会が話し合い、さらに3学会が加わって合同大会としてはじめて開催することとなりました。この合同大会によって、関連学会との緊密な交流が形成され、研究のさらなる活性化とより活発なアウトリーチ活動が可能になると期待されます。それにより、微生物研究の重要性を広く社会にアピールする場ともなると共に、若手の育成にも繋がります。

今後の環境バイオテクノロジー研究の大きな発展につながるよう企画しますので、皆さんの力で大会を大いに盛り上げましょう。どうぞよろしくお願ひします。

環境バイオテクノロジー学会誌編集委員長 金原和秀